科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：アジア乱読 ILAS Seminar :Intensive Reading Seminar on Basics of Asian Studies			担当者所属 職名・氏名	東南アジア地域研究研究所 教授 中西 嘉宏		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	20 (15) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	東南アジア地域研究研究所東棟 E-202会議室 (医・薬・病院構内)			使用言語	日本語
キーワード	アジア / 多読の方法 / 精読の方法 / 積読の方法 / レビューの方法						

[授業の概要・目的]

この授業には2つの目的があります。第1に、どういった本（をはじめとする文字情報の固まり）の読み方があるのか、いかにして何のためにたくさん読むのか、それを自分の知識や考えを更新していくためにどう活かすのかを学ぶこと。第２に アジアとは何かをそれぞれの関心から学ぶことです。アジアという地理的概念は広大な領域を含むものの、そこに何かしらの共通性があるわけではありません。もっとアジア（日本も含む）について知りたいな、くらいに関心がある学生であれば誰でも歓迎です。なお、この授業は読者好きだけを対象とした授業ではありません。本を読むと眠れなくなるほどのめり込む人も、本を読むとあっという間に寝てしまう人も、本を読みたい、読み方を知りたいと思うなら、受講できます。そうはいっても、毎週のように課題が出るので、それをこなす根気は必要です。最終的には、特定のトピックについて複数の本を読みながら考え、そして書く作業につなげます。

[到達目標]

社会・政治・経済・文化を広く文献講読や輪読を通じて学び、多読や精読の方法について知り、筆者が書いていることを理解するだけでなく、自分で考えるために読めるようになる。アジアについて自分自身の関心を主に読書を通じて掘り下げることができるようになる。

[授業計画と内容]

第１回 オリエンテーション
第２回 読書遍歴を話し合おう
第３ー５回 精読って何？
第６ー８回 つなげ読み
第９ー１１回 多読のお作法
第１２ー１４回 アジアを読みしばく
第１５回 まとめ

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（複数回の課題提出）・・・７０％
学期末レポート・・・３０％

ILASセミナー ：アジア乱読(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：アジア乱読(2)

[教科書]

使用しない
講読文献は教員が指示するが、受講生の希望や関心を考慮して授業内で決定する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

課題文献は読んだことを前提に授業が始まりますので、頑張って読んできてください。

[その他（オフィスアワー等）]

読んで議論する形式をとるので、質問、批判といった積極的な参加が求められます。少人数なので発言を求められることもありますし、執筆した自分の文章を参加者全員の前で読み上げることもあります。最初は恥ずかしくても徐々に慣れることが多いです。慣れるまで粘り強く取り組んで欲しいです。授業前にオフィスアワーを設けますが、コンタクトの仕方などはオリエンテーションで説明します。

[主要授業科目（学部・学科名）]